

# ナナホシキンカメムシの集団越冬



「ナナホシキンカメムシ」は南西諸島に生息する美しいキンカメムシです。ナナホシの名前は、腹部の小楯板にある6,7個の紋様からつけられました。

ナナホシキンカメムシには、複数の個体が群を形成して、冬の寒い時期を集団で越す「**集団越冬**」という生態があります。この個体群は南下するほど大きくなると言われています。



このような集団を形成するわけは、単に集団防衛のためというだけでなく、春先の暖かくなった時期に、すぐに交尾相手を見つけることができるというメリットがあるからなのです。バラバラに越冬しては、仲間を見つけるのも一苦労ですからね。

小楯板の模様には個体変異が見られます。紋様の数に差異が見られるほか、紋様がうっすらとしか確認できないような個体もあります。越冬集団を見つけると様々な個体変異を見つけることができます。



生体は非常に美しいのですが、その色彩は標本では失われてしまいます。カメムシの仲間の体色は色素色といって、細胞中の色素に由来する色であるため、死後は色素が壊れてしまい色が褪せてしまうのです。